

スタッコ ウルトラシリーズ(超高機能製品)

無石綿

3時間25N/mm<sup>2</sup> 一材速硬型超高強度断面修復材

不燃材料 認定番号 NE-0073

# スタッコ ウルトラモルタル・HQ

NEXCO規格「左官工法による断面修復の性能照査」

## ■特長

1. 速硬超高強度:材齢3時間で25N/mm<sup>2</sup>、材齢28日で70N/mm<sup>2</sup>以上の圧縮強度を再現します。
2. 超低収縮:材齢28日で長さ変化率0.02%(超低収縮)です。
3. 一材型:所定量の水と練混ぜるだけで使用することができます。
4. 作業性:速硬タイプで、1工程・最大厚み50mm程度まで施工可能です。

## ■標準仕様

	調合割合	塗厚	標準施工面積
スタッコ ウルトラモルタル・HQ	粉体 20kg 壁施工:上水道水 2.0~2.4 L (床施工:上水道水 2.0~2.8 L)	3~50 mm	練り上り容量 約9.4L (厚さ10mm 0.94m <sup>2</sup> )

## ■性能

試験項目	試験結果	規格値	試験方法
単位容積質量(kg/L)	2.35	—	JIS A 1171に準拠
硬化時間(分)	60	1時間以上	構造物施工管理要領 NEXCO規格 「左官工法による 断面修復の性能調査」
断面修復材料の外観 (塗装なし)	異常なし	均一で、われ、はがれ、 ふくれのないこと	
硬化収縮性(%)	0.02	0.05以下	
熱膨張性(1/°C)	$1.2 \times 10^{-5}$	$2.0 \times 10^{-5}$ 以下	
コンクリートとの 付着性 (N/mm <sup>2</sup> )	湿潤時	2.3	
	耐アルカリ性試験後	2.0	
	温冷繰り返し試験後	1.8	
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢3時間	32	補修設計で定めた 設計基準強度以上
	材齢1日	50	
	材齢3日	60	
	材齢7日	65	
	材齢28日	80	

## ■ 施工方法

### 下地処理

モルタルの接着を阻害するコンクリート脆弱層・レイタンス・油分・汚れを除去してください。  
その後、スタックプライマー#3の5倍希釈液(原液:上水道水=1:4)を、刷毛又はウールローラー等でムラなく塗布し、十分に乾燥させてください。  
(塗布量:約100~200g/m<sup>2</sup>、乾燥時間:20°Cで2時間以上)

### 超高強度モルタルの施工

粉体1袋(20kg)に対して、上水道水2.0~2.4 Lの比率で加え、高速ハンドミキサーを使用して十分に混練し、適正軟度に調整してください。  
(床施工の場合は、粉体1袋(20kg)に対して、上水道水2.0~2.8 Lで軟度調整)  
その後、鍍圧を掛けてしごくように塗り付けた後、直ちに所定の厚みに塗り付け、タイミングを見計らって表面を平滑に仕上げてください。

### 養生

塗り付け後の養生期間は1日間以上としてください。

## ■ 用途

- 柱、梁の欠損補修、不陸調整
- 壁面、床面の欠損補修、不陸調整

## ■ 適用仕上

- 塗装仕上、防水仕上 など

## ■ 適用下地

- コンクリート、PC板パネル など

## ■ 荷姿

- スタック ウルトラモルタル・HQ  
粉体:20kg(袋入り)



## ■ 防火性能(不燃材料)



性能評価書



認定書

## ■ ホルムアルデヒド放散等級数

日本建築仕上材工業会登録	
商品名	スタックウルトラモルタル・HQ
表示登録番号	1908012
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造者等名称	菊水化学工業株式会社
ロット番号	梱包に表示

## 施工上の注意

●現場で水以外は混入しないで下さい。●清水は、上水道水を使用して下さい。●塗り付け施工からモルタルが硬化するまで気温3°C以上を維持し、凍結防止の為に適切な養生を行って下さい。●直射日光の当たる所、通風の激しい場所での施工ではシート等で養生を行ってください。●練り混ぜた材料は、1時間以内に使用して下さい。●直射日光下及び3°C以下での保管は避けてください。●湿気や雨掛かりに注意して保管して下さい。

## 安全上の注意

●取り扱い際は、保護具(保護メガネ、保護手袋等)を着用して下さい。●取り扱い後は、顔・手・口等を洗浄して下さい。●材料が目に入った場合は直ちに水洗いをしてすみやかに医師の診断を受けて下さい。●セメントのアルカリ分が皮膚の炎症をおこす恐れがありますので、かゆみや炎症等の症状のある場合は、速やかに医師の診断を受けて下さい。●飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けて下さい。●漏出した製品が河川・下水道へ流入すると環境を汚染する恐れがありますので充分注意して下さい。●廃棄は、産業廃棄物として処理して下さい。

